

## 学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

## 1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	グローバル人材の育成
評価指標	(1) アウトカム ・グローバル人材育成に係る校内アンケート項目「課題研究に対する生徒の肯定的評価(80%以上)」「社会貢献活動に取り組む・将来国際的に活躍したいと考える生徒数倍増(H27:235名)」 ・関西学院大学と連携し実施する「生徒変容アンケート」の【問題解決能力】【対課題基礎力】【対人基礎力】【對自己基礎力】の数値の経年変化から生徒の内面変化(グローバルな資質・能力及び感性の成熟度)を測る。 ・海外大学への留学やグローバルに「使える」英語力として、生徒の80%にGTEC for STUDENTSで450(1年次)、475(2年次)を獲得させる。また、英検2級の合格率を35%にする。 (2) アウトプット ・学校・地域の紹介文(日本語・英語)を「大阪文化発信マップ・夕陽丘」としてまとめ、国際交流テキストとして海外発信する。 ・夕陽丘高校主催による「成果発表会」「ワールドフォーラム」を開催する。
計画名	大阪・夕陽丘発 文化で世界を「デザイン」するリーダーの育成

## 2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	1-① 問題解決型学習に取り組む：総合と関連を図る ⑤ 大学進学や留学に必要な英語運用能力を身に付ける。：GTECスコア H30：500、英検(2級)合格率：受験者の35% 3-⑫ 交流に必要な英語を含む語学力を身に付ける。 ・海外の学校の訪問や留学生を積極的に受け入れ、双方にとって有効な国際交流を展開する。 ⑬ 姉妹校：クラークスタウン高校(アメリカ・ニューヨーク)、鳳新高級中学(台湾) ・国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。 ⑭ 生徒国際交流委員会の定期的開催、国際交流新聞の定期的発行等、国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。		
事業目標	これまで高校生の「世界進出」を阻んできたのは、英語力を含めた異文化コミュニケーション力や海外の知識や経験の不足であるという認識から、夕陽丘高校が持つ地域の文化的財産を「地の利」として、文化を切り口とした国内外のフィールドワークを実施する。これらを通して、生徒が自信をもって世界に飛び出すための「能力・感性」を身に付けるカリキュラム開発を行い、世界の若者に伍して活躍できる人材の育成を図る。 ◆授業の構造改革 ①「総合」を抜本的に改革する。フィールドワークやアクションリサーチをふんだんに取り入れ問題解決型学習を進める。 ②各教科にもアクティブラーニング、問題解決型学習を取り入れ、「総合」との関連を図る。 ③英語以外の教科等で英語による授業の回数、語学講座の実施回数を増やす。 ◆英語教育のイノベーション ①can-doリストに基づく「夕陽丘メソッド」を開発する。 ②GTECスコア H30：500、英検(2級)合格率：受験者の35%等、数値目標を一層明確にして取り組む。 ◆国際交流、キャリア教育の充実 ①生徒国際交流委員会の定期的開催、国際交流新聞の定期的発行、国際交流活動を学校全体で計画的に行う。 ②実際に海外の大学の授業を体験し、卒業後の進路として海外の大学を含めたキャリアデザインを行う。		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	タブレット型パソコン(iPad Air 2)を30台購入する。購入済みの45台と合わせて75台のタブレットを活用して、1班4名のグループで問題解決型学習に年間を通して取り組む。タブレットは、主に、フィールドワークでの情報収集と記録、成果物やプレゼンテーションの作成と国内外への発信、電子ポートフォリオによる学習履歴の記録に活用する。実施に伴う校内の環境設定を行う。	
	取組内容	前年度	①海外修学旅行(H14~台湾等)、語学研修(H11~アメリカ・ニューヨーク等)、音楽研修(H10~ウィーン)を実施している。 ②海外からの留学生を積極的に受け入れ交流を図っている。(アメリカ、カナダ、中国、フィンランド、フランス等) ③6月に第1学年対象に「難民支援の取組」等外務省高官による講演会を実施し、地球規模で課題を考える機会を提供している。 ④大阪府立大学中川智皓氏による即興型ディベート講座や英検対策講座の実施している。
		初年度	◇研究開発名<課題研究の基礎及び討論の進め方を学ぶ>：「探究的な活動に必要なスキルや方法論の基礎」を徹底的に学ぶ。 ◇研究開発名<文化で世界をスキャン&リサーチ①>：学校、地域を知る活動で、「課題発見・解決能力・実行力」を磨く。 ①夕陽丘110th Anniversary…夕陽丘110年の歴史を卒業生、建築物、自然、文化、学校風土について調査し、日本語と英語で紹介する。 ②夕陽丘Street…地域の四天王寺、夕陽七坂、山本能楽堂、文楽劇場、国際交流センター等、国際色豊かな文化施設を日英で紹介する。 ③Japanese Culture & Tradition through English…日本の伝統文化(和装、茶道、能・狂言、落語)を英語でプレゼンできるようにする。
		2年目	◇研究開発名<文化で世界をスキャン&リサーチ②>：世界を知る活動で、「課題発見・解決能力・実行力」を磨く。 ①Journey to the World…アジア、アメリカの都市と夕陽丘を地域・街づくりと教育・文化の観点から比較分析する。 ②国際交流・ボランティアって何…国際交流の留意点、ボランティアの本質や意味について学ぶ。 ③Asian Culture & Tradition through English…アジアの伝統文化を日本語と英語でプレゼンできるようにする。
		3年目	◇研究開発名<夕陽丘ワールドフォーラム>：自分の考えを発信する活動で、「発信力・表現力」を磨く。 ①留学生とのワークショップ…留学生と学校・地域・社会的課題について意見交流し、解決策を考える。 ②即興型英語ディベート…学校・地域・社会的課題についてテーマ設定し、英語で討論する。 ③海外姉妹校、連携校の生徒とのディスカッション…同世代の若者と文化や社会貢献活動、ビジネスプランについて考えを交流する。
取組みの 主担・実施者	主担：「総合的な学習の時間」検討委員会 実施者：各学年団、国際交流委員会 連携先：大阪国際交流センター、関西学院大学特任教授、大阪芸術大学副学長、大阪府立大学助教、大阪府立大学教授、アメリカクラークスタウン校先生 等		
成果と 評価 指標 方法	初年度	①生徒アンケート「学校・地域をよく知ることができた」に対する肯定的回答80%以上 ②GTECスコア：450、英検準2級合格者の割合：75%、2級合格者の割合：30% ③「大阪文化発信マップ・夕陽丘」の作成、本校ホームページでの情報発信 ④成果発表会の実施	
	2年目	①生徒アンケート「世界をよく知ることができた」に対する肯定的回答80%以上 ②GTECスコア：475、英検準2級合格者の割合：77.5%、2級合格者の割合：32.5% ③「世界文化発信マップ・夕陽丘」の作成、本校ホームページでの情報発信 ④成果発表会の実施	
	3年目	①「生徒変容アンケート」による該当項目スコアの向上 ②生徒アンケート「自分の考えを英語で発信することができた」に対する肯定的回答80%以上、「社会貢献活動に取り組む 将来国際的に活躍したいと考える生徒数倍増」 ③GTECスコア：500、英検準2級合格者の割合：80%、英検2級合格者の割合：35% ④夕陽丘ワールドフォーラムの開催	

3. 事業費

事業費総額	3,031,340	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1	国際交流センター職員等(大阪・日本の伝統文化の日本語以外での学び)	○			¥10,000	10	¥100,000
	2	外部講師謝金(課題研究の基礎講座)	○			¥30,000	2	¥60,000
	3	外部講師謝金(英語表現力向上講座)	○			¥10,000	8	¥80,000
								小計
2 旅費	1							
	2							
	3							
								小計
3 消耗需用費	1	iPad					30	¥1,644,000
	2	消費税						¥131,520
	3							
								小計
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
								小計
5 役務費	1							
	2							
	3							
								小計
6 委託料	1							
	2							
	3							
								小計
7 使用料及び賃借料	1							
	2							
	3							
								小計
8 備品購入費	1							
	2							
	3							
								小計
9 工事請負費	1	Wi-Fi環境設定整備						¥875,800
	2	消費税						¥70,064
	3							
								小計
10 負担金・補助及び交付金	1	PDA全国高校即興型英語ディベート合宿研修参加				¥23,652	3	¥70,956
	2							
	3							
								小計
							合計	¥3,031,340

積算内訳